

澤和樹氏コンサート&トークセッション

日 時： 2015年10月24日(土) 15時00分~

場 所： 和歌山大学基礎教育棟 G101

住所) 和歌山県和歌山市栄谷 930 TEL) 073-457-7007

Concert & Talk session

<出演者名>

東京藝術大学音楽学部長

ヴァイオリニスト 澤 和樹 氏

洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、吉祥女子高等学校講師

ピアニスト 夢沼 恵美子 氏

<コーディネーター>

和歌山大学教育学部教授 山名 敏之

Program

モーツァルト/ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 八長調 K.296 (第1楽章)

マスナー/タイースの瞑想曲

エルガー/愛の挨拶 他



東京藝術大学音楽学部長

ヴァイオリニスト
澤 和樹 氏

Sawa kazuki

○ 和歌山市出身。4歳よりヴァイオリンを始める。1979年、東京藝術大学大学院修了。

「安宅賞」受賞。ロン＝ティボー、ヴィエニアフスキ、ミュンヘン（ピアノの夢沼恵美子とのデュオ）などの国際コンクールに入賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞などヴァイオリニストとして国際的に活躍。

1980年より文化庁在外研修員としてロンドンに派遣され、ジョージ・パウク、ベラ・カトーナ両氏に師事。1984年に東京芸大に迎えられとともに本格的な演奏活動を開始。1989年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤カルテットの結成を決意する。ヴィオラ奏者としては、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの共演を始め、グスタフ・マーラーQ、ロータスQ、クスQ、ヘンシェルQらと共演。ヘンシェルQとは、2009年にマックス・ブルッフの弦楽五重奏曲 変ホ長調の世界初演および世界初録音を行った他、2011年には、スペイン王室所蔵のストラディヴァリウスコレクションで第2ヴィオラを担当した。2004年、和歌山県文化賞受賞。

現在、東京藝術大学音楽学部長、同教授。洗足学園音楽大学客員教授。大阪音楽大学客員教授。英国王立音楽院名誉教授。英国北王立音楽院学術特別研究員。響ホール室内合奏団ミュージックアドバイザー。千里フィルハーモニア・大阪常任指揮者。和歌山県立図書館音楽監督。



洗足学園音楽大学、
桐朋学園芸術短期大学、
吉祥女子高等学校講師

ピアニスト
夢沼 恵美子 氏

Tadenuma emiko

○ 東京藝術大学附属高校を経て、東京藝術大学を首席卒業。「安宅賞」受賞。同大学院修了後、ロンドンに留学し、マリア・クルチョ女史に師事。1983年、ミュンヘン国際コンクール、ヴァイオリン・ピアノ二重奏部門で第3位入賞。'84年、東京にてソロデビューリサイタルを開催。2003年9月、ドイツのヘンシェル弦楽四重奏団とハンブルクを始め、北ドイツ各地で共演し高く評価された。これまでに、ジョージ・パウク、ペーター・ダム、ダンカン・マクティア、アマデウス弦楽四重奏団のメンバー等、著名アーティストと多数共演、高い信頼を得ている。フィンランドのクフモ、サヴォンリンナ、イギリスの湖水地方、アメリカのボウドイン、アイルランドのウェスト・コークなど、国内外の音楽祭に招聘されるほか、NHK-FM、BBC等にも出演。'04年には、妹、夢沼明美とピアノデュオによるリサイタルを開催。'06年にはCD「姉妹デュオによる珠玉の連弾」(アート・ユニオン)をリリース。同年、澤 和樹とのデュオ結成30周年記念リサイタルとして「ベートーベン：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ全曲チクルス」を日本各地ならびにイギリスで開催し、成功をおさめる。'11年1月、ヘンシェル弦楽四重奏団との共演によるCD「シューマン&ブラームスのピアノ五重奏曲」をキングレコードよりリリース、音楽誌上で高い評価を受ける。

現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、吉祥女子高等学校講師。